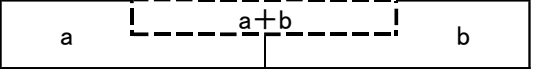


第三期小樽市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況(令和7年度実績)

本市の教育・保育提供区域は、全市を1区域として定めています。

凡例: セルをまたぐ数値は、隣接するセルの合計を表しています



■令和7年度 教育・保育の需要量の見込みと確保方策(提供体制)〔※事業計画書48ページ一部抜粋〕

		計画策定時(令和7年度) (A)							
		1号	2号		3号	0歳	1歳	2歳	
			幼児期の学校教育の利用希望が強い	左記以外					
①需要量の見込み 【利用希望児童数】		387	584	878	1315	634	165	220	249
②児童 確保 方策 【児童定員合計】	特定教育・保育施設	★を除く 649	—	847	629	156	214	259	
	上記以外の幼稚園※1	—	—	—	—	—	—	—	
	幼稚園及び預かり保育	★ 197	—	—	—	—	—	—	
	特定地域型保育事業	—	—	—	—	—	—	—	
	認可外保育施設	—	—	11	45	10	16	19	
	合計	846	—	858	1532	674	166	230	278
過不足 (②-①)		262	—	177	40	1	10	29	
		幼稚園 ←		→ 保育所					

実績(R8.3現在) (B)							
1号	2号		3号	0歳	1歳	2歳	
	幼児期の学校教育の利用希望が強い	左記以外					
	651	1,046	1382				
364	287	759	623	164	217	242	
★を除く 559	—	847	627	156	213	258	
—	—	—	—	—	—	—	
★ 287	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	
—	—	10	42	8	14	20	
846	857	1526	669	164	227	278	
195	98	46	0	10	36		
		幼稚園 ←		→ 保育所			

実績(B)-計画(A)							
1号	2号		3号	0歳	1歳	2歳	
	幼児期の学校教育の利用希望が強い	左記以外					
	168						
▲ 23	90	78	▲ 11	▲ 1	▲ 3	▲ 7	
▲ 90	—	0	▲ 2	0	▲ 1	▲ 1	
—	—	—	—	—	—	—	
90	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	▲ 2	▲ 2	1	
0	▲ 1	▲ 5	▲ 2	▲ 3	0		
▲ 67	0	6	▲ 1	0	7		
		幼稚園 ←		→ 保育所			

※1 平成27年度からの子ども・子育て支援新制度における施設型給付費を受ける保育所・幼稚園・認定こども園は、「特定教育・保育施設」に含み、私学助成を受ける従来型の幼稚園は「上記以外の幼稚園」に含みます。

令和7年度の取組と今後の事業計画、課題等

令和8年3月現在(B)における実績値では、幼稚園部分(1号及び2号中幼児期の学校教育の利用希望が強い)の確保方策合計846名に対し651名の実績となり、保育部分(2号中左記以外及び3号)では合計1,526名の確保方策に対し、1,382名の実績となった。

保育部分においては、確保方策が需要量の見込みを144名分(1,526-1,382)上回っており、市全体としてみると待機児童は発生していない。しかし、希望する施設への入所が叶わない、いわゆる「入所待ち児童」がいることから、施設単位では十分な保育士を確保できていないことが課題となっている。

そのため、市内保育施設等に対し、保育士等の就職に係る説明会の案内など人材確保に有効な情報提供を行い、学生向け就職説明会で「保育士等就労定着支援事業」※を案内するなど取組みを継続した。

利用定員については、今後も必要な需要量を満たすよう事業者の意向を確認しながら協議して設定していく。

※保育士等就労定着支援事業とは
新規に市内の民間保育施設等で保育士等(保育士、保育教諭、幼稚園教諭)として就労を開始した者を対象に支援金を支給する事業(1年目:10万円 3年目:20万円 6年目:30万円)
令和7年度は支援金を1年目、3年目合わせて41名に支給している